

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	多額 の経 費対 象	①事務事業の概要 ②課題（目的に対する現状など）	元年度決算 額[千円]	2年度決算 額[千円]	総合評 価	①評価の理由 ②令和3年度に取組む改革・改善内容	3年度予算 額[千円]
1	一般	9	1	1	消防力の強化	消防事務に要する経費	消防総務課			①災害活動に必要な装備品及び資機材の整備、消防被服の貸与。 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため、計画的な資器材整備を継続する必要がある。	98,785	79,777	6精査・ 検証	①市民の安全で安心な生活を守るため、消防活動に必要な資機材、装備品は必要不可欠である。 ②災害件数の増加及び訓練による消耗を勘案し、円滑な業務遂行を維持しつつ、今後も継続した経費削減を図る。	119,049
2	一般	9	1	1	消防力の強化	消防庁舎の管理運営に要する経費	消防総務課			①消防庁舎各種設備の保守管理業務委託 ②消防施設機器の管理及び良好な職場環境の保持は、消防活動拠点機能維持に必要であり、継続する必要がある。	16,412	15,749	6精査・ 検証	①消防の任務遂行のため、消防庁舎機能の保持は必要不可欠である。 ②継続的に保守点検を実施し、防災活動拠点としての機能を維持する。	17,414
3	一般	9	1	1	消防力の強化	職員研修に要する経費	消防総務課	○		①消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得するため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため、継続的に知識及び技術の習得が必要である。	3,157	921	6精査・ 検証	①専門的な知識や技術は、外部機関による取得以外に方法はなく、救急救助体制の確立には必要不可欠である。 ②消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。	3,666
4	一般	9	1	3	消防力の強化	消防車両更新事業	消防総務課	○	○	①消防活動を維持するために必要な、消防用自動車及び車両積載品を更新整備する。 ②鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。	7,861	53,308	6精査・ 検証	①市民の安全で安心な生活を守るため、消防用自動車等の更新は、継続していかなければならない。 ②本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。	9,547
5	一般	9	1	3	消防力の強化	消防団車両更新事業	消防総務課	○	○	①消防活動を維持するために必要な、非常備用消防車両及び車両積載品を更新整備する。 ②鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。	19,614	19,802	6精査・ 検証	①市民の安全で安心な生活を守るため、非常備用消防車両等の更新は、継続していかなければならない。 ②本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。	19,991

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	多額 の経 費対 象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	元年度決算 額[千円]	2年度決算 額[千円]	総合評 価	①評価の理由 ②令和3年度に取組む改革・改善内容	3年度予算 額[千円]
6	一般	9	1	3	消防力の強化	消防指令業務共同運用事業	消防総務課	○	○	①消防指令業務共同運用の第2期整備として、本市を含む近隣10市による共同運用を行う。 ②令和3年2月1日から本市を含む近隣10市による消防指令業務共同運用が開始された。	0	8,052	1終了	①令和3年2月1日から消防指令業務の共同運用が開始になっているとともに、予算科目も消防事務に要する経費に移行しているため。 ②市民の安全で安心な生活を守るため、本市を含む近隣10市と消防指令業務を共同運用する。	0
7	一般	9	1	3	消防力の強化	鎌ヶ谷消防署改修事業	消防総務課	○	○	①鎌ヶ谷消防署の外壁等を改修し、建物の長寿命化を図るとともに災害活動拠点としての機能を確保する。 ②改修工事に伴い隣地住民への影響及び災害出場に支障が生じないように考慮する必要がある。	0	3,003	7拡充	①消防庁舎は災害活動拠点としての機能を維持していくことが必要不可欠である。 ②実施設計に基づき、老朽化した鎌ヶ谷消防署の外壁等の改修工事を実施する。	75,550
8	一般	9	1	1	消防力の強化	予防業務に要する経費	予防課	○		①火災予防を推進するため、消防訓練時の指導や住宅用火災警報器の設置普及及び維持管理を啓発するとともに、建築確認時の消防設備の設置指導や、対象物の立入検査を行う。 ②住宅用火災警報器の設置後、10年以上を経過する住宅が増加することから、機器の点検及び更新について啓発する必要がある。	2,574	3,091	6精査・ 検証	①火災予防を推進するため、広報やホームページ等を活用し、住宅用火災警報器の設置及び維持管理を啓発すると共に、建築確認時に適正な消防設備の設置指導を実施した。 ②住宅用火災警報器の設置及び維持管理について、広報かまがや市ホームページ並びに消防関係催物等で引き続き啓発を行う。また、建築確認や立入検査等により適正な消防設備の設置指導を実施する。	3,528
9	一般	9	1	1	消防力の強化	警防業務に要する経費	警防課	○		①救急車到着までの間、現場に居合わせた人により効果的な応急手当が実施できるよう、市民及び各種団体を対象に救命講習を実施する。 ②継続的に講習会を開催し、更なる受講者の拡大のため効果的な広報活動等の実施を検討する。	14,093	30,534	6精査・ 検証	①継続的に取り組み検証し、対応することにより市民が安全に暮らせる社会に繋がる。 ②新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底した講習を段階的に再開するとともに、感染状況を注視し、安心して受講できる環境を整え、継続的な講習を実施する。	71,424
10	一般	9	1	1	消防力の強化	大規模災害時応援に要する経費	警防課			①緊急消防援助隊・千葉県消防広域応援隊として、県内県外に応援隊を派遣する。 ②人員、資器材、燃料、食料等の維持管理を含め、派遣体制の充実に努める必要がある。	127	0	6精査・ 検証	①有事の際に応援隊の派遣及び運用を円滑かつ迅速に行うことが必要であるため。 ②出動時の資器材等の確認及び速やかな準備体制の構築を行う。	699

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	多額 の経 費対 象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	元年度決算 額[千円]	2年度決算 額[千円]	総合評 価	①評価の理由 ②令和3年度に取り組む改革・改善内容	3年度予算 額[千円]
11	一般	9	1	1	消防力の強化	消火栓改修事業	警防課	○	○	①経年劣化により破損の危険がある消火栓12基を、優先度の高いものから計画的に改修を行う。 ②現在使用不能としている消火栓について、早急に改修を行う必要がある。	5,547	3,188	6精査・ 検証	①消火活動に欠かせない消防水利について、今後も維持管理を行う必要がある。 ②令和3年度から令和8年度までの総合基本計画前期基本計画に基づき、計6基の消火栓を改修するうち、令和3年度は1基の消火栓を改修する。	4,030
12	一般	9	1	2	消防力の強化	消防団運営に要する経費	警防課	○		①各種災害に出動して、地域防災の中心的な役割を果たす消防団を維持するため、計画的な運営を図るとともに、環境を整備する。 ②環境整備及び広報活動の拡充等を行い、団員の減少に歯止めをかけ人員を確保する。	29,699	22,326	6精査・ 検証	①防災に関する市民ニーズは上昇傾向にあり、今後、さらに高まると予想できるため、継続して行う必要がある。 ②消防団施設・車両・資器材の維持管理及び人員確保を図る。	39,976
13	一般	9	1	2	消防力の強化	消防団装備品整備事業	警防課	○	○	①消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。 ②消防団装備品整備事業として計画的に装備品を整備する必要がある。	4,198	2,772	6精査・ 検証	①「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、消防団装備品の充実強化を図る必要がある。 ②消防団員の雨衣について、防水性、透湿性に優れた雨衣への更新を行う。	743